

授業科目名	情報と分析(2000076)		
時間割名	情報と分析(33102)		
時間割担当	大淵裕美		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	水・3		

授業の目標・概要

本講義では、高度情報化社会において求められる多様な分析手法を学修する。

具体的には、社会調査の手法を中心に、資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく具体的な方法、および分析の考え方を学修する。本講義を通じて、社会における様々な課題に対して、自ら問題設定を行い、適切な分析手法を選択し検証するための知識と実践力の獲得を目指す。

学習の到達目標

- ・社会調査の意義と諸類型に関する基本的事項を理解することができる。
- ・社会調査の方法を用いて資料やデータを収集する方法を理解し、実践するための技能を修得することができる。
- ・リサーチクエスションの設定と仮説構築の基本的な考え方を学修し、実践する基本的な力を獲得することができる。

授業方法・形式

演習・講義

授業計画

第1回

はじめに

社会調査の目的と意義、講義内容の確認

第2回

量的調査と質的調査

データの性質・分析手法の違いと相互補完関係、サンプリングの基礎

第3回

量的調査（1）

国勢調査・官庁統計・学術調査・マーケティングリサーチ

第4回

量的調査（2）

調査対象の選定：全数調査と標本調査

母集団と標本の関係、誤差とバイアス

第5回

量的調査（3）

調査対象の選定：サンプリングの方法

確率抽出法と非確率抽出法、単純無作為抽出法・多段抽出法・層化抽出法

第6回

量的調査（4）

リサーチ・クエスチョンの設定と仮説構築

問題設定と仮説構築、設問の構造化、操作化

第7回

量的調査（5）調査票の作り方

仮説と質問項目、よい質問文と悪い質問文

第8回

量的調査（6）調査票の作り方

尺度化、測定の信頼性と妥当性、質問項目の配列

第9回

一次資料と二次資料

第10回

ドキュメント分析

テキスト、ビジュアルイメージ、音声記録

第11回

質的調査（1）

質的調査の種類と方法、フィールドやインフォーマントへのアプローチ

第12回

質的調査（2）観察法

フィールドへの入り方、記録メモの取り方

フィールドノーツ作成法、エスノグラフィー作成

第13回

質的調査（3）面接法

インタビューの仕方、記録のとり方、音声データの処理

第14回

調査倫理

第15回

本講義のまとめ

成績評価の基準

- ・授業で実施する小テストおよび授業期間中に実施する小課題提出 60%
- ・期末課題 40%

準備学習・復習及び授

- ・小テストや課題が多いため、授業の予習・復習を必ず行うこと。
- ・世論調査や教育に関する各種調査などについて、情報収集を行うことが望ましい。

履修上のアドバイス及

- ・高校数学の確率に関する基礎的な知識を修得していることが望ましい。
- ・「シミュレーションの世界」「統計学」などの科目との関連性が高い。

教材・教科書

必要があれば適宜指示する。

参考書

- 谷岡一郎、2000 『「社会調査」のウソ リサーチ・リテラシーのすすめ』文春新書
- 轟亮・杉野勇編、2017 『入門・社会調査法 [第3版] 2ステップで基礎から学ぶ』法律文化社
- 森岡 清志、2007 『ガイドブック社会調査』日本評論社
- 大谷信介・木下栄二・後藤範章・小松洋編著、2013 『新・社会調査へのアプローチ 論理と方法 』ミネルヴァ書房